

	推奨 クラス	エビデンス レベル
合併疾患の適切な評価と治療を行う	I	C-LD
症候性のHFpEFに対して、うっ血の改善を目的として利尿薬を投与する	I	C-LD
症候性のHFpEFに対して、心血管死または心不全入院の抑制を目的として、SGLT2阻害薬（エンパグリフロジンまたはダパグリフロジン）を投与する	I	A
症候性の左室駆出率（LVEF）が正常以下のHFpEFに対して、心不全入院の抑制を目的として、ARNIの投与を考慮してもよい	II b	B-R
症候性のLVEFが正常以下のHFpEFに対して、心不全入院の抑制を目的にARNIの代替として、ARBの投与を考慮してもよい	II b	B-R
症候性のHFpEF 対して、心血管死または心不全増悪イベントの抑制を目的として、MRA（フィネレノン）の投与を考慮する	II a	B-R
症候性のHFpEF に対して、心不全入院の抑制を目的として、MRA（スピロラクトン、エプレレノン）の投与を考慮してもよい	II b	B-R